

## 網走・女満別と網走湖

～北海道2番目の国立公園～

地元の方にはなじみ深い湖、網走湖。夏はキャンプとシジミ採り、冬はワカサギ釣りのために、年間を通して多くの方が訪れます。今回は網走湖の特徴と成り立ち、生息する生き物、周辺の施設についてご紹介します。

### 網走湖

網走市と大空町女満別にまたがる湖、網走湖。周辺地域とあわせ、北海道で2番目に国立公園に指定されています。また、大空町女満別では例年、網走湖上で花火が打ち上げられるなど、地元の方にとってなじみ深い湖です。

網走湖は今から一万年前は海の一部でした。その後

海水面の低下により、現在のように網走川を通じてオホーツク海と結ばれるようになり、網走湖は満ち引きによって海水と川の水が混ざり合う汽水湖で、その独特な地形から、湖の上層は淡水、下層は塩水と珍しい二層構造の湖となっています。

網走湖にはオオハクチョウをはじめ多くの水鳥が飛来し、天然記念物の自然林には日本有数のアオサギの営巣地があります。また、ワカサギの他、シジミ、シラウオなどの魚が行われております。

### 網走湖の源流

網走湖の源流の一つである網走川は、水源を阿寒山系阿幌岳に持つ一級河川です。山間部を流れたあと津別町市街地で津別川と合流し、平野部を流れながら美幌町市街地にて美幌川と合流します。その後大空町女満別にて網走湖を経て、網走市街地からオホーツク海に流れ出ます。冬は河口に、流水の一部が流れ着くことがあります。

網走湖は網走川の他、トマップ川、呼人川、女満別川とも繋がっており、それぞれの川の終着点となっています。



アオサギ



網走湖

## 網走湖周辺の施設

網走湖周辺にある施設をご紹介します！

### 呼人浦キャンプ場

網走湖畔にあるキャンプ場です。夏はキャンプを、冬はワカサギ釣りを楽しむことができます。



### オホーツク流水館

天都山にあるオホーツク流水館からは、網走湖だけでなくオホーツク海も一望することができます。



### 女満別湖畔公園 キャンプ場・野営場

女満別駅そばにあるキャンプ場です。夏はシジミ採りが楽しめます。



### レークビュースキー場

レークビュースキー場の頂上からも網走湖が一望できます。夏季期間は「はな・てんと」として、色とりどりの花たちを楽しむこともできます。



今回は美幌町と大空町のカントリーサインをご紹介します。大空町は旧女満別町と旧東藻琴村もあわせてご紹介します。

美幌町



美幌町  
Bihoro Town

美幌町のカントリーサインは2019年に変更されています。美幌峠へ繋がる白樺並木道、通称「ロマンチック街道」と、峠の頂上から見られる屈斜路湖が描かれています。

大空町



大空町  
Ozora Town

大空町のカントリーサインは、町のシンボルマークにも指定されています。三角は藻琴山で、角が丸いのはやさしさを表します。水芭蕉と芝桜は大空町の花、三角上部の青色は湖と空を表します。飛行機が白いのは、みんなが一つに染まるようにということ表現しています。

旧女満別町



女満別町  
Memanbetsu Town

旧女満別町の花「水芭蕉」と鍵盤で花と音楽を象徴し、子鹿は子どもからお年寄りまで親しめ、優しさ、自然を表す動物として、町民が未来に向かって飛躍する願いが込められています。

旧東藻琴村



東藻琴村  
Higashimokoto Village

中心に「東藻琴乳製品加工研究所」、右上に旧東藻琴村の花「芝桜」、左上に「ノンキーマーク」が描かれています。「ノンキー」とは、「のん気」と「心に鍵(キー)をかけない」を重ね合わせ、おおらかな村の自然と人情をイメージした言葉です。これを象徴するのが牛をキャラクター化したシンボルマーク「ノンキーマーク」です。



大空町では、町の入口に大きく大空町のカントリーサインが掲げられてあり、その下に各地区のカントリーサインが添えられています。

編集後記

本号より地域情報誌「地域の扉」は年2回の発行とさせていただきます。6月発行分では主に夏と秋について、12月発行分では主に冬と春について、これまで同様地域の情報を掲載いたします。今後とも変わらぬご愛顧をよろしくお願いいたします。

オホーツク地域でもクラスターが発生する等、まだまだ新型コロナウイルス感染症の脅威は続きますが、自分たちでできる感染予防策を取りながら日々過ごしていきましょう。

# 地域の国道

Vol.4  
240号線

## ① 釧路市から阿寒湖へ

国道240号線の起点は釧路市街地の西側にある大楽毛(おたのしけ)2丁目(西1丁目交差点)です。付近には滝川市と釧路市を結ぶ国道38号線と、そのバイパスである釧路新道があります。釧路市街地を出ると釧路空港の側や、阿寒湖温泉街を経由し、釧北峠に向かいます。この区間は野生のシカの飛び出しが非常に多いことから、「シカ注意」の道路標識や路面標示が良く見られます。

## ② 道の駅「あいおい」

釧北峠を境目に、津別町相生(あいおい)地区となり、「ここには道の駅 あいおい」があります。店内では津別町名物のクマヤキや、昔ながらの手作り豆腐等を購入できる他、道内産そば粉を使った手打ちそばを楽しむことができます。また、旧国鉄北見相生駅の跡地には相生鉄道公園があり、当時の駅舎・ホーム・鉄道車両を見学することができます。

国道240号線は津別町を経由する唯一の国道でもあります。相生地区を抜けると津別町市街地、農園地帯を経由し、美幌町へ向かいます。

## ③ 美幌町から網走市へ

美幌町で「大通」と言うと、この国道240号線のことを指します。美幌町市街地を横断し、国道39号線と合流した後は、終点の網走市まで重複します。

国道は、政治上重要な場所を通るとされています。このため網走市街地では、新橋を渡りオホーツク総合振興局前を通過したのち、網走橋を渡って網走信用金庫本店横の南4条東1丁目交差点で終点となります。

地域の国道を紹介するコーナーです。4回目は、釧路市と網走市を結ぶ約118kmの国道240号線をご紹介します。



「シカ注意」の道路標識  
「シカ注意」と道路に白字で書かれた路面標示もあります。



道の駅「あいおい」



釧北峠～網走



釧路～釧北峠



美幌町大通

# 地域のがんばる人

Vol.8

地域で活躍されている企業家を中心に紹介していきます。第8回目は、網走湖の口で2019年5月にうどん専門店「UDON NEXT」を親子で開業した、松田さんです。

## 開業のきっかけ

私は馬が好きで、北海道で牧場を作りたいという夢を叶える為に網走市へ移住することを決意しました。その後、友人が経営するぬいぐるみ店を手伝うようになり、長年勤めてきました。2019年に店の閉店が決まった際、この立地・スペースを活かし、店内を改装してうどん店を開業しました。

## うどん店について

うどん店を開業した理由は、次の体験によるものが大きいです。道外で勤めていた際、初めて専門店のうどんを食べたとき、今まで食べてきたものとは一味違う出汁の香りに衝撃を受けたそうです。網走にはうどん文化があまりないので、この味を地元の皆さんにも伝えたいと思い、うどんの本場香川県で修行し、網走で開業するに至りました。

店名はうどん専門店という「次」のステージで活躍したいという思いから「UDON NEXT」としました。

## 商品へのこだわり

麵の原材料の小麦粉は、北海道産「きたほなみ」と愛知県産「あやひかり」をブレンドしています。2種類の小麦粉をブレンドする事で強いコシに加え、もちもち感のある麵に仕上がります。

食材はできるだけ地元のものを使用しています。野菜も地元の農家さんから仕入れ、より美味しく新鮮なものを提供したいと考えています。きつねうどんの揚げは地元の豆腐屋さんから直接仕入れ、お持ち帰りにも対応しています。今後も地元の食材を積極的に取り入れ、地域貢献の一助となればと考えています。

## 今後について

当店はSNS、特にインスタグラムを見て来店して下さるお客様も多く、今後も味、盛り付け共にこだわった新メニューを考えていきたいです。

また、少しずつ地元の方に認知されてきた事で、常連のお客様との会話も増え嬉しく思っています。今後もたくさんのお客様に長く愛される店舗を目指していきます。



松田 良枝（写真左）  
東京都出身。牧場を作るため網走市に永住を決意。その後、やまね工房を営む友人の元で長年勤務。やまね工房の閉店後、店舗を改装して次男と共にうどん専門店「UDON NEXT」を開業。現在は長男と経営（写真右）。



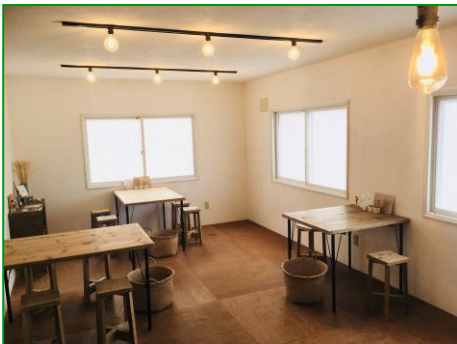
月見天都山かけうどん



平日限定セット+ゴボウ天ちくわ天セット



店舗外観



店舗内の様子

所在地 北海道網走市大曲46-19  
電話番号 070-2791-3008  
営業時間 11:00~15:00 (LO 14:30)  
定休日 火曜日と水曜日  
※店舗情報は発行日時時点の情報になります。